

浄化槽専門委員会の審議経過

浄化槽に関する法令や予算について様々な進展を見るとともに、環境行政全般の前進、国民の環境意識の向上、国及び地方公共団体の財政の逼迫等浄化槽を取り巻く社会状況等の変化が進んだことなどを踏まえ、中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会浄化槽専門委員会（委員長：加藤三郎、(株)環境文明研究所代表取締役所長）において今後の浄化槽行政の展開を図るため「浄化槽ビジョン」の検討を行い、今般、専門委員会報告として取りまとめられた。

平成 18 年

- 5月12日 第15回専門委員会（前回までの議論の整理、今後の検討の進め方、浄化槽を取り巻く状況及び浄化槽の特徴について審議）
- 6月15日 第16回専門委員会（環境保全上健全な水循環の構築に求められる浄化槽の役割について審議）
- 7月27日 第17回専門委員会（浄化槽に関する技術及び今後の浄化槽整備の在り方について審議）
- 8月23日 第18回専門委員会（循環型社会に対応した浄化槽システムの構築及び環境保全活動における浄化槽の確立について審議）
- 9月22日 第19回専門委員会（浄化槽の海外展開について（社）海外環境協力センターへのヒアリングを行った後、浄化槽の海外展開について審議）
- 10月26日 第20回専門委員会（浄化槽に関する考え方等について市民団体へのヒアリングを行った後、浄化槽の位置づけについて審議）
- 11月27日 第21回専門委員会（浄化槽に関する考え方等について地方自治体へのヒアリングを行った後、「浄化槽ビジョン」に盛り込むことが考えられる事項について審議）
- 12月14日 第22回専門委員会（浄化槽の今後の在り方に関する「浄化槽ビジョン」について審議）
- 12月25日 第23回専門委員会（浄化槽の今後の在り方に関する「浄化槽ビジョン」について審議）

平成 19 年

- 1月15日 第24回専門委員会（浄化槽の今後の在り方に関する「浄化槽ビジョン」について取りまとめ）